

板倉

本工右衛門源忠重（重）八右衛門好重（重）子  
子足利春氏（重）子板倉次郎義顯（重）子高（重）

小一（重） 寛永 祖父八右衛門頼重（重） 三

河内額田郡小美村小住（重） 松平大政助忠定

小属（重） 好重（重） 松平大政助好景小属（重）

少（重） 永禄四年己卯好景（重） 男王殿助仔

忠

東照宮の御命とてけりかむりて接ふと  
して多勢と率の上野城におのむく時  
好景の兼守る所の中島城微勢なり  
うの良義昭西三河の東條よりえ以發  
してこまきと圍し好景深溝の城小在り  
其吉成圍急小と出でて義昭と戦  
ひもこく撃て敗りてと敵の接ふ  
馳ゆるまに終小勝事ありと

討死ひ此時好重とまゝ好景の側と離  
まひおろりて圍の中小在り奮ひ戦ひ  
て死ぬぬと四十二歳なり此法名源

空とこ家譜忠重

東照宮遠江國高天神の体と攻給ふ時  
進みと城かとり小ちつと忽ち敵  
はよふひ武者小の逢ぬ敵引返して堀  
のうち小とととと忠重追かあ

堀内うちしきつら取るなり

東照宮遠江國小山の城に攻め入りしに  
此忠重松平家忠小左さくしき先陣  
小左さく首一級とり取りたり天正十二  
年長久手合戦の時酒井左衛門尉松平  
家忠ら組小左さく士卒又騎とありしに云  
そろ小敵を討つと候へし忠重其中  
小組して發向し既小左さく合戦に揚の

と此忠重後敵して清方の云はれり  
うり引取事と得たり寛永三年

三月朔日八十三歳にて死ひ法名

一室といふ

寛永譜の子孫  
系副詳なり